

2021年 新年のごあいさつ



「より一層の信頼と負託に応える議会へ」

白石市議会議長

小川 正人

明けましておめでとうございませす。市民の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大が社会に与えた影響は大きく、私たちの暮らしは一変いたしました。市内においてもさまざまな業種の方々に影響を及ぼし、本市の経済にも暗い影をおとしております。本市議会では、このような状況を鑑み、昨年、議員の政務活動費ならびに行政視察費の全額を減額するとともに、議員報酬を一定期間削減し、新型コロナウイルス感染症対策費へ活用していただいております。

一方、コロナ禍など暗い話題が多い中、昨年10月に「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」の新規事業化が決定いたしました。4年前、山田市長が掲げた選挙公約がこれほど早期に実現したことは、市長、市当局が国土交通省をはじめ関係機関と連携して取り組んだたまものであります。本市議会においても平成28年に「スマートインターチェンジ設置推進特別委員会」を設置し、市当局とともに新規事業化に向けた活動を展開してきたところです。早期整備に向け、引き続き市当局と連携を図りながら鋭意取り組んでまいります。

また、本市議会では、市民の皆

「持続可能な白石市」「選ばれるまち白石市」の実現を目指して

白石市長

山田 裕一

明けましておめでとうございませす。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市民生活や経済、教育、行政といったあらゆる面において新型コロナウイルスと向き合った1年でした。一昨年の台風19号からの復旧とともに、感染症対策と社会経済活動の両立を目指して、未知なる脅威との戦いを繰り広げてきました。そうした中、私自身が新型コロナウイルスに感染し、公務に支障をきたすこととなり、関係各位にご迷惑とご心配をお掛けしましたこと、心からお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により市内経済は非常に厳しい状況にあります。昨年10月に「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」の新規事業化が決定したことは白石市発展の大きなチャンスと捉えています。スマートインターチェンジの整備とともに周辺に新たな工業団地を造成し、企業誘致を加速させることで、「企業進出↓雇用増↓税収増↓市民サービス還元」の好循環の創出につなげてまいります。

また、昨年、地方創生の核となる事業として整備を進めていた農工商連携を核とした賑わい交流拠点「しろいしSun Park」が、地元食材活用レストランの完成と

ともにランドオープンを迎え、コロナ禍にあっても新たな賑わいの創出につながっていることを実感しております。

そして、現在白石市では、今後10年間の目指すべき将来像とまちづくりの方向性の指針となる「第六次白石市総合計画」の策定を進めているところです。少子高齢化と人口減少、人口の一極集中などの社会情勢の変化の中において、変わらないもの、変わってはいけないものが多く存在する一方、これまで通りのやり方が通用しなくなっており、守るべきものは守りながら、柔軟かつ大胆に変革することが必要となっております。時代に取り残されず、将来にわたり「持続可能な白石市」となるためには、変化を恐れず、積極果敢に改革に取り組みなければなりません。

本市が持続可能なまちであり続けるために、「ひとづくり」「地域力の向上」「新しい価値の創造」の3つを基本的視点として、シビックプライド(まちへの誇りと愛着)を育むまちづくりを推進し、「選ばれるまち白石市」となるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって幸多き1年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

皆さまや将来を担う子どもたちから市政への提言・意見などをいただくため「市民と議会の意見交換会」や「中学生議会」を開催してまいりました。残念ながら昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。今後とも皆さまからのご提言などを市政に反映する取り組みを進めてまいります。

さらに、議会改革の取り組みを進めていく中で、議員定数などについても議論していく必要があることから、昨年12月に「議員定数・報酬検討特別委員会」を設置いたしました。人口減少や少子高齢化社会の到来などに伴う本市が抱えるさまざまな課題や今後の将来展望などについて市民の意向を把握しながら、総合的に議論を進めてまいります。

市議会といたしましては、今後も、市当局と議論を交えながら、より一層市民の皆さまが誇りに思える白石市を築き上げるため、市政課題や市民の意向を的確に把握し、信頼と負託に応えられるよう、議員一同、全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年が輝かしい1年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

※本市2カ所目となるインターチェンジ「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」は、本市のさらなる発展の起爆剤となることを期待されます(写真は白石インターチェンジ)。

